

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)	◎	高級レストラン（事業戦略担当）	・地域の観光施策やGo Toキャンペーンの再開で、消費は更に拡大する。
	◎	一般レストラン（経営者）	・このままの状態、新型コロナウイルス第6波が発生しなければ、景気はどんどん良くなる。
	◎	観光型ホテル（営業担当）	・来年から再開されるGo To Travelキャンペーン事業の効果で、景気は良くなる。
	◎	観光型ホテル（副支配人）	・年が明けると、国のGo To Travelキャンペーンが再開するため、宿泊の予約が更に増加する。
	◎	タクシー運転手	・年末を控え、人の動きが良くなっており、稼働率も上昇しているため、今後、景気は良くなる。
	◎	通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、客の動きが活発になるため、景気は良くなる。
	◎	テーマパーク（営業担当）	・外国の状況が気になるが、国内では新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、経済活動も徐々に活発化していることから、景気は良くなる。
	◎	テーマパーク（業務担当）	・積雪が多くなると、来客数の増加が見込めなくなるが、このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気は今以上に良くなる。
	◎	住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向が続けば、景気の更なる回復が期待できる。
	○	商店街（理事）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していることから、景気もやや良くなる。
	○	商店街（代表者）	・緊急事態宣言解除以降、商店街に隣接する駅前の人の流れが良くなり、商店街でのイベントも開催されるようになったため、今後、景気はやや良くなる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、商店街を通行する客が目に見えて増加しているため、今後、景気はやや良くなる。
	○	一般小売店〔印章〕（経営者）	・Go To Travelキャンペーンも再開し、人の動きが活発になるため、景気はやや良くなる。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・地元への観光客が増加し、旅館は週末満室になっているため、今後、地元で金が回っていけば、景気も回復していく。
	○	百貨店（営業企画担当）	・近隣のイベント等も開催され、観光客の動きも良くなりつつあり、年末年始の帰省等も期待できるため、景気はやや良くなる。
	○	百貨店（外商担当）	・今まで控えてきた旅行や行事の再開で、客の購買意欲が高まり、景気はやや良くなる。
	○	スーパー（店長）	・前年と違い、年末年始の帰省が通常どおりとなり、前年より気温が低下することが予測されるため、冬物商材の需要の増加も見込まれる。また、前年の年末年始の落ち込みの反動で、来客数や売上が増加する。
	○	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、来客数が増加しており、消費も徐々に上向いている。また、これまで自粛していた広告や催事を再開するため、今後、更なる売上の増加が期待できる。
	○	コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、日常に戻りつつあるため、今後、景気はやや良くなる。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・旅行のキャンペーンが再開してくると景気が好転する。冬場の天候が大きな鍵となる。
○	家電量販店（販売担当）	・年末商戦に期待できるため、景気はやや良くなる。	
○	乗用車販売店（営業担当）	・2～3か月後は決算期となるため、景気は良くなるが、納期が長くなっているため、例年ほどは良くならない。	
○	乗用車販売店（営業担当）	・この調子で販売台数が増加すれば、この先、景気はやや良くなる。	
○	乗用車販売店（営業担当）	・年末年始に動きが良くなる可能性がある。	
○	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたままであれば、このまま景気はやや良くなる。	
○	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・このまま新型コロナウイルス感染症が終息に向かえば、景気はやや良くなる。	

○	その他専門店 [布地] (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたまま年末に向かうため、年末年始には景気はやや良くなる。
○	その他専門店 [土産物] (経営者)	・Go Toキャンペーンが始まれば、観光客が増加する。
○	その他小売 [ショッピングセンター] (支配人)	・新型コロナウイルス第6波が発生せず、繁忙期となる12～1月の年末年始商戦を乗り切れれば、客の購買意欲が更に高まり、景気も回復基調に向かう。
○	その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	・このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、終息に向かえば、景気は良くなっていく。年末年始に向けて、客の財布のひもが緩むことを期待し、引き続き感染対策を続けることが大事である。
○	一般レストラン (経営者)	・年末年始に新型コロナウイルスの感染が拡大しない限り、景気は良い方向に向かい、久しぶりのにぎわいが期待できる。
○	一般レストラン (店長)	・このまま新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向が続けば、観光客は今より増加し、依然として自粛傾向にある企業の団体利用やインバウンドも次第に増えてくる。
○	旅行代理店 (支店長)	・Go To Travelキャンペーンなど各種経済対策が動き始め、本格的な需要回復が期待できるため、景気はやや良くなる。
○	タクシー運転手	・海外で急激に新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているのが気になるが、国内は今後、ワクチンの効果や治療薬の開発で、正常な状況に近づいていくため、景気はやや良くなる。
○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息すれば、12～1月と人出が多くなり、夜の街も活気が出てくる。
○	タクシー運転手	・今の状況が続けば、夜に飲食で出掛ける客も増加する。
○	通信会社 (企画担当)	・消費が元に戻りつつあるが、現時点では新型コロナウイルス流行前の水準に戻っていない。ただ、新型コロナウイルスの感染状況がこのまま落ち着けば、景気の回復傾向が持続し、新型コロナウイルス流行前の状況に近づいていく。
○	通信会社 (経理担当)	・光サービスのエリア拡大に伴い、客がサービスに関心を持ち、問合せも増加しているので、今後は少しずつ景気が良くなっていく。
○	観光名所 (館長)	・新型コロナウイルスの感染状況が今のままであれば、来客数も徐々に増加する。
○	美容室 (経営者)	・今後も人出が増加すれば、それに伴い、売上も少しずつ増加する。
□	商店街 (代表者)	・今後も新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すればよいが、現時点でも売上が回復方向に向かっていないので、景気は変わらない。
□	一般小売店 [茶] (経営者)	・先行きが不透明で、輸出が低迷したままで年を越すことが確実である。
□	一般小売店 [洋裁附属品] (経営者)	・人の流れは良くなっているが、今後もなかなか売上にはつながらない。
□	百貨店 (経理担当)	・景気は緩やかな回復傾向に向かうと思われるが、新型コロナウイルスの新変異株の世界的な拡大などがあり、予測ができない。
□	百貨店 (営業担当)	・長期間の自粛などにより、客の価値観やライフスタイルが大きく変化しており、景気は一時的に上向くものの、まだまだ厳しい状況が続く。
□	百貨店 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、来客数が前年並みまで回復してきているものの、売上は前年を下回っており、メーカーの在庫抑制による商品不足の解消や消費マインドの回復にはまだまだ時間を要する。
□	百貨店 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響で、人々の生活が一変してしまい、客の婦人服の購買意欲が元に戻らないため、景気は変わらない。
□	百貨店 (売場担当)	・地域の購買動向は改善しつつあるが、新型コロナウイルスの新変異株の動向が不透明であるため、景気の先行きも不透明である。
□	スーパー (店長)	・客の節約志向が続くため、現状維持で精一杯である。
□	スーパー (店長)	・クリスマスや年末年始の状況は良くなるが、それ以外の通常時は客が購買を控えるため、景気は変わらない。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・今後も食品の値上げが増えることが予想され、客が無駄な買物をしない傾向が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業システム担当）	・新型コロナウイルスの影響が薄れつつあるが、巣籠り需要の減少もあり、売上が例年並みに戻りつつあるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・景気が良くなる要因が見当たらないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・景気の良くなる要素が余りないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息するまで景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（代表）	・外国人の入国制限が緩和され、新型コロナウイルスの感染が活発になる冬を迎えるため、まだまだ楽観視はできない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・商品の値上がり傾向や生産の遅れによる欠品などもあり、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているが、今後、冬になると、再び猛威を振るう可能性がある。その際、家電商品の需要が今より低迷することはないが、増加する見込みもない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・政府の特別な景気刺激策がない限り、景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（業務担当）	・生産工場が平常稼働に近づきつつあるが、海外の新型コロナウイルスの感染拡大の報道もあり、今後も予断を許さない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（統括）	・新車の供給台数が定まっておらず、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新規の来客数が減少し、販売台数が前年を大幅に下回っている。納期が元に戻るのはまだまだ先であり、景気が上向きには時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍で経済が安定するにはまだまだ時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・今後も会社関係の宴会利用の増加は望めず、家族や仲間など少人数での利用が続くため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	バー（経営者）	・新型コロナウイルスの新変異株の発生もあり、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（企画担当）	・客の外出や旅行に対する意欲が高まっているが、寒い冬を迎えるため、行楽シーズンのような人出は期待できない。今後、2～3か月は景気は現状どおりか若干上向き程度となる。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（企画担当）	・年末年始の集客時期に向け、レストランでの個人客の動きが活発になってきたが、新型コロナウイルス第6波に対する懸念は払拭できず、法人企業の宴会利用などが敬遠されているため、景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたままであるかどうかは明らかでないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・景気が悪化する要因もなければ、好転する要因もないため、景気は変わらない。ただ、燃料費の高騰や半導体不足の影響が続けば、景気は暗転する。
<input type="checkbox"/>	通信会社（広報担当）	・もう少し新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、客の買い控え傾向が続き、景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの新変異株の影響がどの程度か注視する必要があるが、現時点では景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスに対する政府の対応が悪いため、景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	観光名所（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が今のままであれば、景気は余り変わらない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（営業担当）	・予約状況が例年並みであるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	競艇場（企画営業担当）	・2～3か月後も売上はほぼ変わらない。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、外出やイベントの機会が減り、人の動きが鈍くなっている。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いても、減少した売上を元に戻すにはまだまだ時間が掛かる。

□	設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が今は落ち着いているが、今後、このまま終息するとは思えないので、景気が良くなるにはもう少し時間が掛かる。
□	設計事務所（経営者）	・建築物価が上昇を続けているので、大きな景気対策がなければ、現状は変わらない。
□	設計事務所（経営者）	・年末年始と休みが多くなり、接客機会が増加しないため、受注が改善しない。
□	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス感染症が終息しても、大型の経済対策が打ち出されるにはもう少し時間が掛かるため、景気は変わらない。
□	住宅販売会社（営業所長）	・テレワークや移住等による動きは一巡した感がある。政府による新しい住宅取得支援策に期待したいが、現状では景気は変わらない。
▲	商店街（代表者）	・客が商品の購入に慎重な状況が続くため、景気はやや悪くなる。
▲	商店街（代表者）	・観光客等の動きから判断すると、景気は回復している。ただ、景気は新型コロナウイルスの動向次第であり、全体としては今後、景気は多少悪くなる。
▲	一般小売店〔食品〕（経営者）	・今後、ウィズコロナの新生活様式は定着するが、景気はやや悪くなる。
▲	百貨店（外商担当）	・ガソリン価格の高騰など各種商品の値上げの報道を受け、客が購買に慎重になっており、心理的な影響などから、景気はなかなか良くならない。
▲	百貨店（販売計画担当）	・個人所得が減少するため、景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、食品小売業の巣籠り需要も減少しているため、今後は厳しい状況になる。
▲	スーパー（店長）	・今後、来客数が減少するとともに、客の買い回りの増加で販売量も減少するため、売上が悪化する。
▲	スーパー（総務担当）	・寒さが本格的になり、生鮮品の値上がりが予想されるが、その他の商品も含め、商品の値上がりが徐々に響いてくる。
▲	スーパー（業務開発担当）	・客の関心が外食や旅行などに移り、食における節約志向が定着していることから、クリスマス、年末商戦を控え、非常に不安である。
▲	スーパー（販売担当）	・年末のボーナスの支給が前年と比べ、厳しくなりそうなので、景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（財務担当）	・ワクチンの3回目接種が進み、新型コロナウイルスの新規感染者数が激減し、客の外出機会が増えると、家庭で食事を作る機会が減少するため、食料品を中心に売上が減少する。
▲	家電量販店（店長）	・来客数が回復しないため、景気はやや悪くなる。
▲	乗用車販売店（店長）	・半導体不足による納期の長期化が顕著になっている。現在の販売台数が数か月後の売上に直結するが、厳しい販売状況が続いているため、今後、景気はやや悪くなる。一方で、中古車や整備は前年並みの売上を維持できる。
▲	住関連専門店（営業担当）	・東南アジアや中国からの商品が入荷しない。原材料の値上げによる商品の値上げが増加しているため、今後、景気はやや悪くなる。
▲	都市型ホテル（総支配人）	・例年1～2月はオフ期となるが、景気は今後のGo To Travelキャンペーンの動向や新型コロナウイルスの感染状況に左右されるため、先行きが不透明な状況に変わらない。今冬は厳しい天候が予測されているため、予断を許さない状況である。
×	コンビニ（エリア担当）	・下水道工事が来月末まで続き、先週からは歩道の工事も始まり、来年3月まで続くため、今後も車の通行量が減少し、売上が悪化する。
×	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの新変異株の影響で、海外ではロックダウンを実施している国もある。国内でも年末年始に再び新型コロナウイルスの新規感染者が多数発生すると、緊急事態宣言が発出され、個人消費が激減する。新型コロナウイルス第6波が襲来すると、今までのワクチンが効かず、緊急事態宣言が長期化するため、景気は悪くなる。
×	美容室（経営者）	・客が自粛に慣れているため、今後も客の来店頻度が増加しない。

企業動向関連 (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・今後も自動車メーカーからの受注が入り、フル稼働となるため、忙しくなる。
	◎	通信業（営業企画担当）	・引き合いが増え、半導体不足による納期遅れの影響で、早くから取引先の購入に向けた動きが活発化しているため。景気は良くなる。
	○	化学工業（総務担当）	・ワクチン接種や投薬等の開発で、新型コロナウイルスが徐々に落ち着き、経済全体が活性化する。
	○	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・半導体不足問題や東南アジアからの部品の調達問題が落ち着くことに加え、主要客の新製品の生産が開始することにより、受注が回復する。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・取引先から少しずつ生産量が増加するとの情報を得ているため、今後、景気はやや良くなる。
	○	輸送業（総務・人事担当）	・年末にかけて受注が増加するため、景気はやや良くなる。
	○	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少が続くため、受注が増加する。
	○	会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスや原油価格の高騰の影響が少なければ、新型コロナウイルス禍で促進したリスク分散やデジタルトランスフォーメーション化により、受注が増加する。
	□	農林水産業（従業員）	・冬場になり、新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加する可能性がある。また、もし増加しなくても余りにも自粛期間が長かったため、完全には新型コロナウイルス流行前の状態に戻らない。
	□	食料品製造業（経営者）	・物価の上昇を商品価格に転嫁しにくいと、会社経営の大きな負担となっている。経費の負担が大きく、厳しい状況が続くが、売上が徐々に回復しているため、例年並みに落ち着きそうである。
	□	食料品製造業（総務担当）	・販売量はそれなりであるが、原料価格の上昇や原油価格の高騰による物流費の増加の影響で、景気は良くならない。
	□	繊維工業（財務担当）	・販売商品の価格改正を進めているが、原材料や人件費の上昇で利益確保が難しいため、景気は良くならない。
	□	木材木製品製造業（経理担当）	・販売の状況は悪くはないが、今後、更に仕入れコストの増加が見込まれ、利益面では厳しい状況が続くため、景気は横ばい状況で推移する。ただ、原油価格が年末に向けて更に上昇すると、景気は悪くなる。
	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・鉄鋼業向け需要が継続するため、当面は現在の生産水準を維持する。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・今後の受注に大幅な増減がないため、現在の水準を維持する。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・景気に大きな変化はなく、横ばいが続く。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	・金属価格は当面高値で推移するが、これ以上の上昇は想定できないため、景気は変わらない。
	□	一般機械器具製造業（管理担当）	・原材料の価格高騰や環境への対応について、先行きがみえにくい。
	□	輸送業（総務担当）	・緊急事態宣言が解除されたものの、半導体不足の影響が残っていることや、なかなか新型コロナウイルス流行前の環境に戻らない産業があることから、景気はすぐには回復しない。
	□	金融業（融資企画担当）	・半導体不足が一旦解消されたことから、地元完成車メーカーの国内工場は、当面、ピークに近い高操業を計画している。このため、系列の地元部品メーカーの受注も堅調に推移する。
□	金融業（貸付担当）	・年末年始の特需を控えているが、原油価格高騰の影響によりコストが上昇し、企業の収益力が低下する。	
□	不動産業（総務担当）	・来月はほぼ今月並み、年明けからは需要時期で、前年並みとなる。	
▲	化学工業（総務担当）	・原材料価格の高騰が景気回復を阻害するため、景気はやや悪くなる。	
▲	金属製品製造業（総務担当）	・多少の上下があるものの、原材料価格が上昇傾向で推移するため、収益が悪化する。	
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体等電子部品の供給不足、原油や天然ガスの価格高騰など先行きに関する下振れリスク要因があるため、景気はやや悪くなる。	

	▲	建設業（経営者）	・建築業界において、業者間の受注競争が激しくなっており、これまで競合しなかった上位業者との競争も出てきているため、今後、景気はやや悪くなる。	
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連品だけでなく、汎用部品等も入荷しにくくなっているため、今後、景気は悪くなる。	
	×	建設業（総務担当）	・現状から判断すると、今後、景気は悪くなる。	
	×	コピーサービス業（管理担当）	・企業内でデジタルトランスフォーメーション推進が浸透することに加え、電子帳簿保存法改定への対応でペーパーレス化が加速度的に進んでいくため、企業が専門業者に依頼するコピー出力は激減する。特殊な素材へのコピー出力や特殊加工ができなければ、今後、仕事はなくなる。	
雇用 関連 (中国)	◎	*	*	
	○	人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルス禍で転職を控えていた求職者が動き出せば、経済はより活性化する。今後、年末や年度末に向けて、来春を見越した求人や求職が増加する。	
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染リスクの低下に伴い、今後、景気は良くなり、新規求人数や新規求職者数も増加する。	
	○	職業安定所（所長）	・宿泊業や飲食サービス業では、緊急事態宣言の解除を受け、年末年始の繁忙期に向けた求人が増加している。特に、観光温泉地では急募が多くなっている。	
	○	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・周辺企業においても、アフターコロナを見据えて新卒採用を行う動きが出てきていることから、今後、景気はやや良くなる。	
	○	学校〔大学〕（就職担当）	・2月上旬からGo To Travelキャンペーンが再開し、ヒト・モノ・カネの流れが活発になるため、景気はやや良くなる。	
	○	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの終息に伴い、人の動きが活発化するため、景気はやや良くなる。	
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス第6波を警戒しての動きか、転職希望者を含め、求職者の動きが鈍くなっているため、今後も景気は変わらない。	
	□	人材派遣会社（支社長）	・景気が回復する要因が見当たらないため、景気は変わらない。	
	□	人材派遣会社（経営戦略担当）	・半導体不足の影響が一定期間継続し、新型コロナウイルス第6波という不確定要因も懸念されるため、景気は変わらない。	
	□	求人情報誌製作会社（広告担当）	・このまま新型コロナウイルスが終息するとは思えないので、景気は変わらない。前年から新型コロナウイルス感染症の拡大とリモートワークの台頭で、中小企業を中心に、UターンやIターンの就活が活発化してきている。業種としては、金融や情報系が多くなっている。知名度がない、会社の情報が少ないといった欠点をホームページや就職サイトなどでうまく補うことができた中小企業が成功している。	
	□	職業安定所（事業所担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているものの、飲食店等からは客足が戻っていないという声もあり、先行きが不透明な状況から、直ちに景気が回復するとは考えにくい。また、雇用調整助成金の申請件数も依然として高止まり傾向にあることから、景気は変わらない。	
	□	職業安定所（雇用関連担当）	・製造業の求人は好調であるが、原材料の値上げ等の懸念もある。また、宿泊業や飲食業の求人も活発ではあったが、新型コロナウイルスの影響を受けやすい業界を避けたい求職者とのミスマッチが生じている。こうしたことから、景気は良くならない。	
	□	民間職業紹介機関（職員）	・エネルギー価格の高騰による光熱費や最終消費財の価格の上昇など生活への不安から、人々の財布のひもが固くなっている。人々が、本格的な冬場に向けて、消費より貯蓄を優先していることから、景気は良くならない。	
		▲	—	—
		×	—	—